

2020年8月6日

各位

会社名 株式会社テノ・ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 池内 比呂子
 (コード番号: 7037 東証マザーズ
 ・福証Q-Board)
 問合せ先 取締役管理本部長 吉野 晴彦
 (TEL. 092-263-3550)

通期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ

当社は、本日(2020年8月6日)開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ2020年2月12日の決算発表時に公表いたしました2020年12月期通期連結業績予想を以下のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2020年1月1日~2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,767	471	446	287	61.91
今回修正予想(B)	10,825	601	581	362	77.74
増減額(B-A)	57	129	134	74	
増減率(%)	0.5	27.4	30.1	25.8	
(参考)前期連結実績(2019年12月期)	10,050	485	460	287	62.81

2. 修正の理由

2020年12月期の通期連結業績につきましては、2020年12月期第2四半期累計期間までの公的保育事業における補助金収入の見込みが上回ったことに加え、当初業績予想に含めていなかった介護事業(2020年3月に事業譲受により運営開始)の増収貢献分を増加要因として見込んでおりますが、新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響に関する各保育施設(主に受託保育所)の減収要因(今後の稼働率を保守的に検討)を含めて着地見込みを試算した結果、売上高は当初予想を上回るものと見込んでおります。

また、利益面に関して、上記の公的保育事業の補助金収入による増益貢献、公的保育事業において政府の緊急事態宣言に伴う登園自粛要請による変動費が減少したこと、当初業績予想において保守的に見積もっていた新規開設関連費用が想定よりも抑制されたことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は当初予想を上回るものと見込んでおります。

なお、当社グループでは現時点において新型コロナウイルス感染症拡大による業績に与える影響は、軽微ながらもあるものと認識しており、その影響が2020年12月期中は続くと仮定し、上記の通期連結業績予想に織り込んでおります。

※業績予想に関する留意事項

上記の業績予想につきましては、発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上